

## 平成 30 年度 自己評価報告

私の祖父が保育園を運営してからというもの 70 年以上が経過しましたが、私は祖父の代より保育情勢の移り変わりを見てきました。時代に応じて年々保育業界も変化を求められ、私が小さかった頃と比べると、保育に関する考え方・内容、保護者が求める保育や事柄にも大きな変化が見られるようになったと感じます。もちろんある一定の決まりが出来る事で、どの保育園へ入所しても子ども達にとっては過ごしやすい環境へと変化を遂げておりますが、現在の保育新制度が開始してからというもの、点数制度により入所選考が行われているため、本来の希望園でないところへ入所が決定してしまい保護者側と園側とで意見の相違や気持ちのすれ違い等が起こってしまう問題も各園で見られるようです。全員がすべてを納得するというのは大変難しいことですが、先月には皆様にアンケートをご回答頂いたので、それらも踏まえながら平成 30 年度の自己評価を行いたいと思います。

重要事項でお伝えさせて頂きましたが、当園では子どもの育ちに関わる各関係機関と、当園独自に連携を図っております。保護者各位の中には、気にしてしまったり、心配してしまう方がいらっしゃるのですが、詳しい日程や支援方法などはお伝えしておりませんが、今年度は療育コーディネーターの方に年 5 回お越し頂き、内 2 回は言語聴覚士の先生や発達心理士の先生と一緒に連携を図り、園児の育ちに関する情報の共有や援助に取り組み、アドバイスを頂いたり、個々の成長に合わせた配慮・支援を行いました。また、発達支援機関とも連絡を取り合いながら、子ども達にわかりやすく物事が理解できるよう工夫も行って参りました。

運動面についてですが、年長・年中さんクラスを対象に例年通り体操教室を行い、今年度後半から新たに「遊び」を全般的に教えてくれる体育あそび教室を行い、子ども達の運動能力の向上を図りました。この体育あそびは見学に来た皆様にとっても好評を頂きました。それら以外では、天気の良い日には園庭で遊んだり、小学校などで苦戦する縄跳びや鉄棒の練習、長縄跳び等々、普段ご家庭で練習する事が難しい遊びを取り入れて外遊びを行いました。それらの遊びが行えない年齢児は、砂遊びやかけっこ、昔ながらの遊び、近隣へのお散歩や公園などに行き、季節を感じながら様々な遊びを行っております。乳児クラス(0・1 歳児)においては、例年に比べ年度始めに子ども達が保育園に慣れるのに時間がかかってしまい、室内遊びやテラスなどの遊びがメインとなってしまう、その流れからか思うようにお散歩や外遊びが少なくなってしまう傾向にあり、反省するところであると思っております。

園内の環境面では、一昨年より QR コードによる登降園の管理を行っておりますが、どうしても QR コードのかざし忘れや、ギリギリの時間帯に駆け込んでくる保護者との問題が発生してしまい、延長料金に関するトラブルが起こってしまうのが現状であります。また、機械管理であるため、Wi-Fi の電波トラブルや管理会社のシステムトラブルで御迷惑をお掛けしてしまう事もありました。現状では、次年度に間に合うように業務用の Wi-Fi を導入することで電波のトラブルが起らないようにするのが最善の策であり、機器の発注は済ませております。保護者の皆様と登降園の事でメモ事などを起こしたくないというのが当園側としても素直な気持ちでありますので、何卒ご理解いただき QR コードのかざし忘れの無いようご配慮いただきたくお願い申し上げます。また、お仕事で時間帯がギリギリになってしまう事もあるかと思いますが、急いでいて事故を起こしてしまっは元も子もありませんので、安全面には十分に気を付け、出来る限りでよろしいので時間に余裕を持ってお迎えに来てください。

保育の環境面では、子ども達が「保育園が楽しい」と思えるように心がけてきました。各行事はもちろんのこと、普段の保育においても新しい試みに挑戦し、子ども達が様々な経験を楽しく行えるよう、各職員が持つ個性や特色・特技などを利用しながら、クラスの先生達が工夫を凝らして保育を行ってくれました。近年では定番行事となりましたが、今年で三回目のハロウィンでは各クラスの個性が出て皆可愛らしく変装し、子ども達・職員・保護者・子育て支援の皆様もだんだんと仮装が板についてきました。また、昨年より「家族の日」というものを園独自に設け、今年も各クラスで個性的なプレゼントを家族に渡しました。その他にも納涼会では流しそうめんを行ったり、ボディーパーティや、綿菓子の機械を借りてきて各クラス通常保育時に綿菓子を作って食べたり、スライム作り、お泊り保育ではナイトプール、お別れ遠足ではスケートなども行いました。定番行事や新しい行事、どんなイベントにおいても、子ども達はいつも満面の笑みで楽しんでくれたので、とても良かったと思っております。

その他の自己評価として、今年は生活発表会において観覧席とシルバース席、立ち見席を設けてみました、近くで子ども達のお遊戯を観られると比較的好評でした。中には他のクラスの発表が観られなかったとの意見もあり、どのように改善していくのが難しい課題ではありますが、今年度初めての試みだったので皆さんにご意見等を頂きながら来年度の保護者役員さん方と話し合っていきたいと思っております。

行事や年度途中に必ず意見が出るのが駐車場の問題です。この件に関しては他の保育園と比べて頂けるとおわかりになると思いますが、当園で利用している駐車場はかなり広大な範囲で駐車場の利用が出来ています。他の保育園の園長先生方に確認したところ、少なくとも行事の際には数家庭での乗り合わせ・車の利用を控えて貰う・人数の制限などの協力をお願いしているとの事です。そのように考えると当園はまだマシな方なのかと思います。また、重要事項説明の際に少し話題にしましたが、職員が園側に駐車を行うのはあくまで安全の為であり、職員は帰宅ラッシュの時間帯には業務中で車を動かさないからです。帰宅が重なる時間帯にバックで出た際に子どもが見えなくて事故を起こしてしまうリスクも減ります。中には通常保育時に園側に駐車している方(国際シンボルマーク駐車スペースの利用が必要な方を除く)もいらっしゃると思いますが、園としては安全面で園側の駐車は禁止とさせて頂きます。ご理解をお願い致します。

今年アンケートなどの回答も合わせ自己評価を行いました。全てにお答えすることは出来ませんので、気になる事は私に遠慮なく聞いて頂ければ回答いたします。今年も一年間保育園の運営にご理解ご協力を頂き誠にありがとうございました。以上を持って自己評価とさせて頂きます。

保育園の自己評価

平成 30 年度に取り組んだこと	
子どもに対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に配慮し、危険と思われる物を点検・撤去。安全な物へと取り換えていった。</li> <li>・新しい取り組みや職員の特色・特技を活かし、子ども達が楽しめる様に配慮していった。</li> <li>・子ども達が一緒に楽しめるような遊びや、制作等を学ぶ研修を企画し学習した。</li> <li>・専門機関と連携し、職員会議・ミーティングにて話し合いを行い、職員全体が一人一人の子どもを把握して共通理解のもと子どもと関わっていった。</li> <li>・様々な野菜の収穫を行い、育てる事・収穫する事の喜びを感じながら食材に関心を持ち、楽しく食事を行えるよう食育に力を入れた。また、給食のお手伝い日を設け楽しみながら行った。</li> <li>・健康に配慮し、子どもにうがい・手洗いを促した。室内の設備においては、空気清浄機や弱酸性希塩酸水（ハセッパー水）の室内滅菌加湿器等を設置。室内温度・湿度・なども配慮を行った。</li> <li>・アレルギーを持つ子どもに対して、間違いの無いようトレイを使用。前日の食材確認、給食室での提供確認、クラスで再度の確認と三度の確認を行い、間違いの無い様に配膳した。</li> <li>・子ども達が使用する玩具に目新しい物などを取り入れた。</li> </ul>
保護者に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たにホームページを開設し、保護者専用ページを設け子どもの様子を写真で閲覧出来るようにしたり、当園許可書や薬の依頼書、土曜保育利用時に必要な書類等を活用出来るようにした。</li> <li>・行事はもちろん、日常生活やイベントなどにおいても参観しやすいよう配慮を行った。</li> <li>・送迎時にその日の様子や出来事など、伝えられる範囲で伝達を行った。</li> <li>・連絡帳等を利用し、園での子どもの様子を伝え家庭での様子も伺いながら、共通理解のもと、子どもを育てていけるよう心掛けていった。（主に乳児クラス）</li> <li>・園に対しての要望等を聞く中で、改善を行えるものは改善に取り組み、職員も保護者側の話に耳を傾ける様に心掛けた。</li> <li>・メールシステムを活用し、園の行事や各クラスなどで流行している病気等の連絡、その他行事や配布物の日程や期限などを伝えた。園入り口にてボードでの連絡も行った。</li> <li>・毎日給食の写真を保育園入口に提示し、子ども達がどのような食事を行っているのか紹介した。</li> <li>・園からのお便りなど、無駄を省き読みやすく出来る様に心掛けた。</li> </ul>
組織として	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記（子ども・保護者に対して）のように心掛けた。</li> <li>・笑顔を中心掛け、明るい雰囲気の中で保育を中心掛けていった。</li> <li>・担任だけがクラスの子を保育するのではなく、各職員が協力しながら保育を行っていった。</li> <li>・職員会議やミーティングを行い、共通理解を持って保育が進められるように努めた。</li> <li>・子どもが楽しんで生活できるように、ひとりひとりの子どもの気持ちに寄り添う心掛けをした。</li> </ul>

平成 31 年度に取り組みたい事

- ・優しく思いやりのある子どもに育つよう保育を取り組む。
- ・個々の子ども達の良いところを伸ばしていき、苦手な事にもチャレンジする心を育てる。
- ・「ありがとう」「ごめんない」という言葉や、人を思いやれる心を育ててゆく。
- ・物事の良し悪しをきちんと教える。
- ・各関係機関と連携を図り、心と体の自立を促す。
- ・一人一人のペースを大切にしながら、集団生活が楽しく行える様に配慮する。
- ・園と保護者が互いに助け合い、協力し合いながら、子どもにとって最善の保育・家庭環境を作っていく。
- ・様々な事柄に興味を持った子どもの気持ちに対し、その気持ちを尊重しながら幅の広い保育を行う。
- ・外遊びや運動などを中心に体力作りや体感を鍛え、基本的な身体能力を伸ばしていく。